



# 医師会病院だより



## 理念

安心して暮らせる地域造りを目的とし、益田地域のニーズにあった保健・医療・福祉の提供を行います。

## 基本方針

1. 公正で安全な医療を提供し人材育成と研修の場を提供します。
2. 患者さま・ご家族さまの人権と意志を尊重した、納得と同意に基づいた医療を提供します。
3. かかりつけ医の支援病院としてきめこまかな病診連携を行います。
4. 在宅を旨とした保健予防・リハビリテーション・緩和ケアの充実を図ります。
5. 公益社団法人として益田地域全体にわたる保健・医療・福祉のセーフティネットを構築し、公益の増進に寄与します。

## 第85号

- 石見空港航空事故訓練
- 炊き出しステーション贈呈式
- 秋の消防訓練実施
- 健康食レシピ
- 第48回TQM大会開催

## 石見空港航空機事故消火救難総合訓練

施設課 主任 石田 克久

11月11日  
(日)に年1回実施される石見空港航空機事故消火救難総合訓練に医師会病院の救護班が活動しました。現地対策本部には副



出発前の集合写真

本部長として内藤会長、救護班長に五十嵐副院長、救護班(仮設病院受付を含め)益田市医師会として総勢13名の参加となりました。

リアージポストに当院の五十嵐副院長が担当しトリアージは重症負傷者が搬送される赤シートを受け持つ事となっていて負傷者役には石見高等看護学院の学生が20名それぞれの症例の役に徹しました。医師会救護班はその中から重症者3名に処置をする活動内容でしたが、当院での事前打合せで黄・緑シートのトリアージは益田赤十字病院救護班の担当ですが、負傷者搬送数や処置状況によっては相互応援を取り支援していきましようと思合せをしました。

しかし救護活動中に応援要請がなくても、黄シートに搬送された負傷者を医師会救護班の自ら率先した活動と迅速な対応には見ていた私も感動しました。また、益田赤十字病院医師の安部先生も五十嵐副院長から振り分けられた負傷者のトリアージの処置指示も的確で全てに行われていたため搬送も日赤、消防、医師会とスムーズに対応出来ました。今回の活動で航空機事故の搭乗者を救護する活動が実際起きない事が前提ですが、救護活動を両病院間で出来たのは良かったと思います。

### 目的...

この訓練は、石見空港における航空機事故を想定し、石見空港緊急計画に基づく空港内各機関からなる組織、益田地区広域市町村圏事務組合益田広域消防本部、益田市消防団、益田警察署、島根県医師会、益田市医師会、日本赤十字社島根県支部、島根県歯科医師会、島根県歯科医師会益田鹿足支部及び益田市が緊密な協力のもと消火救難活動を実施し、各種緊急活動体制の確立やその手順について確認し習熟するとともに、関係機関相互の協力体制強化と被害軽減を図ることを目的としています。

当日は、朝から雨が降りしきる悪天候でしたが、救護活動が開始する前には活動を見守るかの様に青空が広がりました。今年の救護活動はト



トリアージ(重症)担当



益田赤十字病院救護班への支援



医師会病院担当トリアージポスト



救急車へ搬送の様子

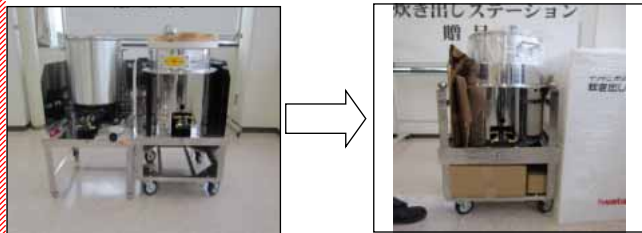
# 炊き出しステーションを頂きました

この度、「益田マル斗株式会社」様より災害時用の炊き出しステーションを贈与され、11月14日に贈呈式が当院で行われました。



寄贈された炊き出しステーション

この寄贈された、炊き出しステーションは...  
 ご飯と汁物で各々50～120人分の同時調理が可能(米1人前を約0.7合計算、1合は約150g)炊飯は最大12kgを一気に炊き上げ、汁物は30%までの調理が可能です。  
 収納時はコンパクトな収納ケースに収まり、狭いスペースでも保管が可能です。  
 ガスのプロが企画・制作し、安全性・実用性に優れた調理器具セットです。



こんなにもコンパクトに収納できます！



今後、この寄贈された炊き出しステーションを当院の防災訓練で実際に炊き出しを行おうと考えています。大切に使用させていただきます。



# 秋の防災訓練実施

災害発生時には、患者様を無事に避難誘導できるように年に2回避難訓練を実施しています。今年度2回目の訓練を11月20日に実施しました。今回は、「夜間の地震」を想定し当日勤務の職員が訓練に参加しました。



くにさき苑から地震による火災が発生し、しばらくして病院4階病棟からも火災発生という状況で訓練を行いました。



火災発生時の消火訓練では、くにさき苑玄関前から、病院4階では4階からそれぞれ放水の訓練を行いました。参加した職員一同真剣に訓練をしました。また今回は夜間を想定している訓練ですので勤務者が少ないことが予想されます。万一に備えて、落ち着いた対応と行動ができるようにこれからも訓練を重ねていきます。

また今回は、訓練終了後に病院事務職員による、放水訓練展示が行われました。本番さながらの迫りに職員一同驚いていました。



# 健康長しシビ もずく酢サンラータン

寒さも本格的になってきました。寒い季節には体を温めるスープはうれしいですね。



酸辣湯（サンラータン）は、中国料理のスープのひとつで、酢の酸味と唐辛子や胡椒の辛味と香味を利かせた、酸味豊かな辛みのあるスープです。市販のもずく酢を利用すれば簡単にサンラータン風のスープができます。野菜やきのこ、豆腐、春雨などの具材を入れたボリュームのあるおかずスープにアレンジしてみるのもよいと思います。

（材料4人分）

もずく酢(市販)	2パック
なめこ	80g
青ねぎ	12g
卵	1個
中華だしの素	小さじ2
水	600ml
こしょう	少々
濃口しょうゆ	小さじ1/2
ごま油	少々

（一人分）

エネルギー	48 kcal
たんぱく質	3.5 g
脂肪	1.8 g
食物繊維	1.1 g

## （作り方）

### 下準備

- なめこはサッと洗っておきます。
- 青ねぎは小口切りにします。

### 調理

- 鍋に水と中華だしを入れて煮立て、なめこを加えます。
- 再び煮立ったら、もずく酢を入れ火を通し、溶き卵を回し入れます。
- しょうゆ、こしょうを加えて調味します。味を見て塩（分量外）で整えます。
- ごま油を数滴加えます。

### 仕上げ

- 器に盛り、青ねぎをのせてできあがりです。

## 改善への取り組み 第48回TQM発表大会

11月17日（土）、第48回TQM発表大会が行われました。今回も県内外から多くの施設の方々に参加して頂きました。病院方針である「医療法改正、診療・介護報酬同時改定への対応」、くにさき苑方針である「生活機能の維持・回復を図り、在宅復帰・在宅療養支援のため地域拠点施設を目指す」に基づき16サークルが2会場に分かれて半年間にわたる改善活動の発表を行いそれぞれ優秀賞、特別賞の選考を行いました。

### 優秀賞

- POSTサークル
- 働きばちサークル

### 特別賞

- スマイルサークル
- 3Dサークル

さらに今回は、第一会場の最初の発表で、第14回フォーラム「医療の改善活動」in沖縄で見事優秀賞を獲得致しましたMRMいいんかい？の藤川主任より「周術期静脈血栓症予防対策の構造」の事例発表を行いました。さらに全事例発表終了後に、TQM推進事務局の石田主任より「医療のTQM推進協議における審査基準について」の講演とハナキリンサークルの広瀬科長より沖縄フォーラムの出張報告を行いました。



# 益田地域医療センター医師会病院 外来診療担当医一覧表

平成24年11月26日より

診療科	診察	月	火	水	木	金	備考
内科 消化器内科	午前	狩野 稔久	古田 晃一郎 (消化器内科)	井上 実緒	狩野 稔久	小川 哲生 (6番にて) 古田 晃一郎 (再診のみ)	内科一般 消化器内科(火曜日)
循環器内科	午前				伊藤 新平 (9:00~15:00)		循環器内科
外科	午前	服部 晋司	林 彦多	榎野 好成	和氣 仁美 (11:00まで) 山野井 彰 (胆・肝・膵外科) (11:00~) 五十嵐 雅彦 (再診のみ7番にて)	五十嵐 雅彦	消化器外科・呼吸器外科 小児外科・肛門科 一般外科
肛門外科	午前				服部 晋司 林 彦多		第1・3・5木曜日 服部医師 第2・4木曜日 林医師
整形外科	午前	交互診療	守屋 淳詞 (脊椎は除く)	大中 博司	大中 博司	守屋 淳詞 (脊椎は除く)	整形外科一般
麻酔科	午前		島大麻酔科			島大麻酔科	交互診療 (島根大学麻酔科教授月1回不定期診療)
リハビリテーション科	午前	新垣 美佐	柿木 伸之	新垣 美佐	中島 暁美 (9:30~12:00)	柿木 伸之	リハビリテーション科全般
リウマチ科 (電話予約制)		近藤 正宏 角田 佳子 (9:00~15:00)					膠原病専門外来 近藤・角田の交互診療 電話による完全予約制
呼吸器外科	午前		岸本 晃司 (9:00~12:00)				第2・4火曜日 呼吸器疾患全般 二次健診後のフォロー
循環器外科	午前			末廣 章一			第1水曜日 (心臓・血管外科)
特殊外来	脳神経領域	午前		山崎 達輔			
	頭痛外来	午前		石崎 公郁子			完全予約制
	放射線治療	午前				玉置 幸久 猪俣 泰典(教授)	第4金曜日 玉置・猪俣の交互診療
	乳腺外来	午後		榎野 好成			14:00~16:00
	緩和ケア	午前				五十嵐 雅彦 服部 晋司	第1・3・5木曜日
	セカンドオピニオン外来	午前					田島 義証 (島大消化器総合外科教授) 電話による完全予約制

初診受付 午前8時30分~11時00分 再診受付 午前8時30分~11時30分  
但し、急患の場合はこの限りではありません。

## 緩和ケア外来のお知らせ

「がん」と診断された患者さんは、手術や化学療法など「がん」そのものの治療だけでなく、「がん」に伴うつらさ(痛みなどのつらい症状、こころの問題、療養上の気がり)を解決する事も大切です。そこで当院では患者さんやご家族のサポートをするために緩和ケア外来を行っています。

**外来日：木曜日(第1・3・5週目)**

**担当医：五十嵐雅彦・服部晋司**

**事前の予約が必要です。**

ご予約・ご相談、問い合わせ先 **がん相談支援センター 担当：二宮 隆史**

発行：益田地域医療センター 広報委員会

〒699-3676 島根県益田市遠田町1917-2 TEL：0856-22-3611(代表) FAX：0856-22-0407

E-mail：info@masumi.shimane.med.or.jp 医師会病院URL：http://hp.masuda-med.or.jp/